

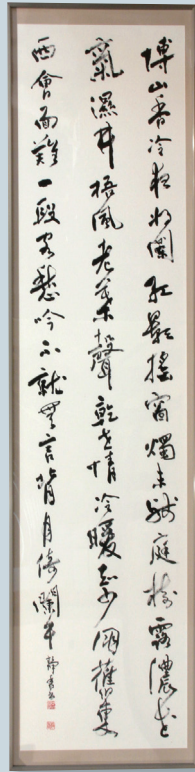
第23回

宮城シニア美術展

最優秀賞



書
黄庚詩



宋の時代の詩人、黄庚（こうこう）が旅の最中に見た景色を詠んだ詩です。文字の大きさや配置といったパランスに気を付けて書きました。書道は仕事の合間に趣味として楽しんでいます。これからも書きたいと思えるものを書き、上達していきたいです。

岩沼市 中川静香さん(86)

洋画 時化る龍舞崎(気仙沼市)

大崎市 大沼四郎さん(68)



仕事を退職し「家にこもっているよりは」と自己流で水彩画を始めて約5年になります。各地の公募展に出品するうちに多くの友人ができ、今回モチーフにした龍舞崎にも絵の仲間3人と出掛けました。ちょうど台風が近づいているときに、荒れた海の空気感を表現しようと苦心しました。波のうねりやしぶきは紙の白色をそのまま生かしています。

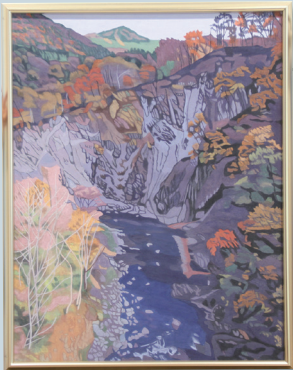


日本画 けあらし

仙台市太白区 相原幹男さん(77)



舞台は気仙沼市の海。冷え込んだ朝方の海面に見られる「けあらし」を描きました。漁船の上にたたくものは、同年代と思われるベテラン漁師。厳しい寒さの中でもくもくと作業する姿に、「震災に負けないぞ」という気構えや人間の底力を感じ、筆を走らせた。夜が明けきらないうちの、黒っぽい海の色を表現するのが難しかったです。



日本画

山峡の秋

仙台市宮城野区
鈴木健次郎さん(89)



工芸

カビン

仙台市青葉区
佐藤常男さん(77)



写真

ふみゑさんの指定席

仙台市太白区
黒田文子さん(80)

洋画

昭和20年の魂

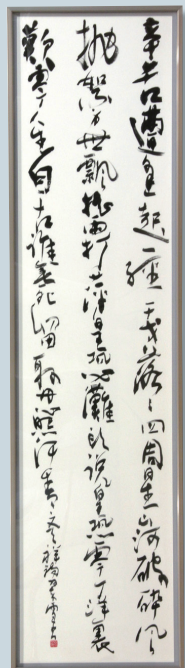
栗原市
斉藤文子さん(74)



書

過零丁洋(零丁洋を過ぐ)

多賀城市 永澤翠雪さん(66)



優秀賞